

## 稲毛海浜公園自然観察会

### 木の実や葉っぱで遊ぼう！

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2021年11月27日（土）10：00～12：00 天候：晴れ

場 所：稲毛海浜公園（千葉市）

参加者：17名（大人9名 子ども8名）

担当指導員：中田・盛一・平田 事務局：伊藤

晩秋の青空のもと、感染対策をしっかりと行い観察会を実施しました。

まず初めに今日まわるルートのマップと主な樹木名、樹木の絵を資料として参加者に配布し、公園内にどんな樹木があるのか、あるいはこの名前の木はどれかなど興味関心を寄せてもらいました。観察した植物はヘクソカズラ、ナワシログミ、スダジイ、マテバシイ、クロガネモチ、アキニレ、サザンカ、シャリンバイ、アオギリ、クロマツ、アオツツラフジ、シロダモ、ネズミモチ、トベラ、ヤマノイモ（ムカゴ）、ハマヒサカキ、タンキリマメ、アカメガシワ、ハゼノキ、クスノキ、ウバメガシ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、ソテツなどでした。小学生の子どもたちはマップを見ながら「今どこらへん？」とか「シャリンバイはどれ？」とか積極的に観察に参加していました。ドングリも楽しそうに拾っていました。大人の方はマップや絵と実物を見比べながら、「シャリンバイの実はブルーベリーみたいですね」とかトベラの赤い実は「ベトベトしていますね」と触ってみて驚いていました。また、ヘクソカズラやハマヒサカキ、ナワシログミ、ヤブニッケイなどの匂いを嗅いでもらい植物に色々な匂いがあることを体感してもらいました。そして、圧巻はなんとアオツツラフジでした。アオツツラフジの前で、タネを配り、そしてアンモナイト化石の写真を見せると、大人も子どもも自然の不思議さ面白さに歓声が上がりました。終わりかけていましたがシロダモの赤い実と黄色い花が同時に見られたことも良かったです。

後半は参加者が集めた木の実に自分の“きのみずかん”を、葉っぱでスタンドグラスを作りました。親子で熱心に最後まで丁寧に作っていたのが印象的でした。子どもたちからは、楽しかったという声が多く聞かれました。大人の方が葉っぱのスタンドグラスの葉の名前を聞きながら記入している熱心な姿に感心しました。皆さんそれぞれ最高の作品とともに今日観察した様々な樹木を振り返りながら楽しいひと時を過ごしました。



ドングリ見つかった？



私の“きのみずかん”



葉っぱのスタンドグラス